

# 製品・技術 PR レポート

## 1. 企業概要

会社名	インテグレーションテクノロジー株式会社		代表者名	船田 浩良			
			窓口担当	小野塚 一樹			
事業内容	ソフトウェア開発・販売		URL	<a href="http://www.int-tech.co.jp">http://www.int-tech.co.jp</a>			
主要製品	制御およびモデルベース関連ソフトウェア、ガラスモールドシミュレーションソフトウェア						
住所	埼玉県和光市南2-3-13 和光理研インキュベーションプラザ 105号						
電話/FAX 番号	048-458-5105 / 048-458-5106		E-mail	info@int-tech.co.jp			
資本金(百万円)	17.5	設立年月日	平成 23 年 7 月	売上(百万円)	335.9	従業員数	15

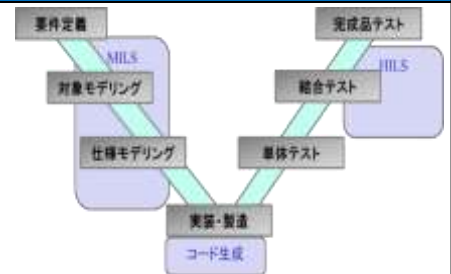
## 2. PR事項

### 『モデルベース開発とガラスモールドシミュレーション』

#### ◆モデルベース開発【MBD】

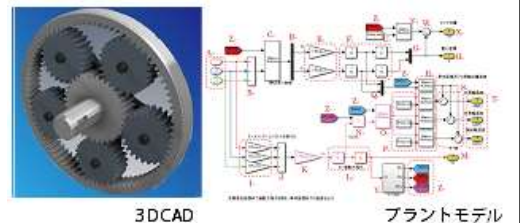
#### 製品企画段階から実施する、新しいシミュレーション法 :モデルベース開発【MBD】

これまでのシミュレーションは、製品デジタルデータ化により、品質・コスト・生産性を向上させるプロセスであった。モデルベース開発では、制御システムを企画構想段階から、設計、試作、検証の開発プロセスにおいて、制御システムを図式で表現した「モデル」で定義を行い、シミュレーションで動作をテストさせ、そのまま製品に実装していく開発プロセスとなる。制御モデルと制御対象物理モデル双方の大規模化・複雑化・高度化にともない、自動車業界を中心に必須の技術になりつつあります。



#### モデルベース開発事例【MATLAB・Simulink 等を利用したプラントモデリング】

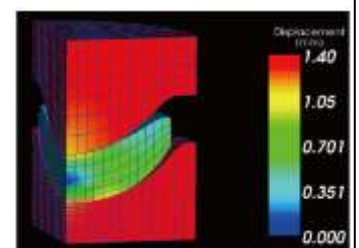
3D モデルを生成し、機構部品の動きをモデル化し、コントローラで動作させます。3D モデルは、非接触測定器を利用したモデリングも対応します。構造の明確化やシステムの動作を把握、制御設計の抜け漏れをなくす事が可能です。当社では MATLAB、AMESim など、さまざまなツールでの開発に対応できます。



#### ◆ガラスモールドシミュレーション

#### 「V-Glace」ガラスモールドシミュレーション

理研で開発された VCAD をベースに改良、機能追加することにより実現。ガラスモールド成形における、成形技術(収縮による形状変化、残留応力による屈折率分布、熱による材料特性の変化等)を高精度に完全な3次元(テトラメッシュ・ヘキサメッシュ)で解析可能なシミュレーションシステムです。光学性能設計と統合して利用することができます。ソリッド3次元モデルによるプリフォームからレンズ取り出しまでの過程(高温下でのプレス過程での金型とガラスの時々刻々と変化する接触状態におけるガラス挙動)の高精度なシミュレーションが可能です。



## 3. 特記事項 (期待される応用分野等)

- MATLAB 等を利用した MBD(モデルベース開発)、とりわけ、プラントモデル開発が得意分野
- 理研で開発したVCADを利用して、弾塑性解析、流体解析等も実施可能

■主要取引先: アイシン・エイ・ダブリュ(株)、いすゞ自動車(株)、(株)いすゞ中央研究所、(株)A&D、(株)MCOR、オリンパス(株)、コニカミノルタ(株)、ジヤトコ(株)、(株)タムロン、(株)豊通エレクトロニクス、トヨタ自動車(株)、日本無線(株)、富士重工(株)、ホンダエンジニアリング(株)、(株)本田技術研究所、(株)先端力学シミュレーション研究所、日野自動車(株)、ローム(株)、マスワークス合同会社、(財)大阪科学技術センター、東京海洋大学、東京工業大学、東京女子医科大学、理化学研究所、駒澤大学 など。